

- 問1 1897年から1912年にかけての統計において、綿織物の輸出額と綿花の輸入額がともに急増している状況が見られます。このような貿易構造が日本経済に与えた影響や背景について、正しい説明はどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 原料の輸入額が製品の輸出額を常に上回っていたため、日本の貿易収支は大幅な赤字が続いた。 | 2. 国内の農業を保護するために綿花の輸入を禁止したことで、綿糸の生産が停滞した。 | 3. 重化学工業の発展により、綿糸や生糸などの軽工業製品の輸出は減少の一途をたどった。 | 4. 安価な原料を輸入して加工し、製品を輸出することで、多額の利益を得て貿易黒字に貢献した。 |
|--|---|---|--|
- 問2 明治時代の文化において、箱根の芦ノ湖畔で団扇（うちわ）を手に持って涼んでいる女性の姿を描いた、日本の近代洋画を代表する作品『湖畔』の作者として正しいものを選びなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 狩野永徳 | 2. 横山大観 | 3. 岡倉天心 | 4. 黒田清輝 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 明治時代の日本の外交や政治の動向において、1875年の樺太・千島交換条約の締結などと同時期に、北方の統治を強化する目的で明治政府が行った施策として正しいものはどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 蝦夷地を北海道と改め、開拓使を設置して土地の開墾や警備を推進した。 | 2. 異国船打払令を出し、沿岸に近く外国船を無差別に砲撃して追い払った。 | 3. 米の価格高騰によって全国で発生した米騒動を、軍隊を動員して鎮圧した。 | 4. 長崎に奉行所を置き、貿易の管理やキリスト教の取り締まりを強化した。 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問4 明治政府が群馬県に設立した、西洋の技術を導入して品質の良い生糸を大量生産することを目的とした官営模範工場の名称として適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 富岡製糸場 | 2. 長崎造船所 | 3. 八幡製鉄所 | 4. 足尾銅山 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問5 1894年に調印され、1899年（明治32年）に実施された日英通商航海条約によって、日本は長年の課題であった不平等条約の改正を一部実現しました。この条約の実施に伴い、新たに外国との貿易港として指定された三重県の港として正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 神戸港 | 2. 四日市港 | 3. 函館港 | 4. 横浜港 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問6 1889年に発布された大日本帝国憲法の制定過程において、中心人物である伊藤博文がドイツ（プロイセン）の憲法を模範とした理由として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 岩倉具視がヨーロッパ派遣の際に、フランスの共和制こそが日本にとって理想であると主張したため。 | 2. アメリカ合衆国憲法のように、大統領制と三権分立を完全に融合させた近代国家を目指したため。 | 3. 君主である天皇の権限が強い仕組みが、当時の日本の統治体制に適していると考えたため。 | 4. 国民が主権を持つことを明確にし、議会が政府に対して絶対的な優位を持つ仕組みを作るため。 |
|---|---|--|--|
- 問7 明治政府が地租改正を行い、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「物納（米）」から「現金」へと変更した最大の目的は何ですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 農村における地主の権限を弱め、すべての農民を自作農にするため | 2. 米の流通量を増やし、都市部での米不足や物価高騰を解消するため | 3. 廃藩置県によって失業した武士に対して、土地を安く分配するため | 4. 天候や作柄の影響を排除し、政府の予算編成に必要な税収を安定させるため |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
- 問8 日露戦争終結後の1905年、講和条約であるポーツマス条約の内容に対して日本国内で「日比谷焼打事件」などの激しい反対運動が起きました。この不満の背景にある当時の財政状況の説明したものとして適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 賠償金として得た多額の資金がすべて軍備の拡張に回され、国民への減税が一切行われないことが判明したから。 | 2. 戦費を調達するために導入された消費税が条約締結後に廃止され、軍事産業に従事していた労働者の賃金が低下したから。 | 3. ロシアから得た賠償金が予想よりも少額であり、戦時中に発行した外債（外国への借金）をすべて返済することが不可能になったから。 | 4. 戦争中に軍事費が急増し、国民が重い税負担を耐え忍んできたにもかかわらず、条約で賠償金を得ることができなかったから。 |
|--|--|--|--|
- 問9 板垣退助を党首として結成された自由党に関する説明として、その思想的特徴や主な支持層を正しく述べたものはどれか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 天皇中心の国家体制を維持するため、旧武士層のみによる組織化を目指した。 | 2. 政府の官僚が中心となり、ドイツ（プロイセン）流の憲法制定を目的とした。 | 3. フランス流の急進的な自由主義を掲げ、地方の地主や農民を主な支持層とした。 | 4. イギリス流の穏健な立憲主義を掲げ、都市の商工業者や知識人を主な支持層とした。 |
|--|--|---|---|
- 問10 19世紀末の清において、「扶清滅洋（清を助け、西洋を滅ぼす）」のスローガンを掲げた民衆が、キリスト教の布教や列強の進出に反対して北京の公使館を包囲した事件を何といいますか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 1. 義和団事件 | 2. 五・四運動 | 3. 辛亥革命 | 4. 太平天国の乱 |
|----------|----------|---------|-----------|
- 問11 1871年に出発した岩倉使節団に、日本初の女子留学生の一員としてわずか6歳で随行し、帰国後に「女子英学塾」を創設して日本の女子教育の発展に貢献した人物は誰ですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 市川房枝 | 2. 与謝野晶子 | 3. 平塚らいてう | 4. 津田梅子 |
|---------|----------|-----------|---------|
- 問12 日露戦争の講和において、日本の全権を務めた小村寿太郎が調印したポーツマス条約に関連して、当時の社会情勢を説明した文として正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 欧米諸国からの関税自主権の回復に成功し、国民が祝賀会を開いた | 2. 第一次世界大戦後の不況に対する抗議として、全国で米騒動が起こった | 3. 賠償金が得られないことへの不満から、日比谷焼打ち事件が発生した | 4. 下関条約の内容に反対したロシア・ドイツ・フランスが三国干渉を行った |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
- 問13 1894年に朝鮮半島で発生し、日清戦争の直接的なきっかけとなった、東学の信者を中心とする農民の反乱は何と呼ばれますか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|-----------|
| 1. 義和団事件 | 2. 太平天国の乱 | 3. 壬午事変 | 4. 甲午農民戦争 |
|----------|-----------|---------|-----------|
- 問14 日本の土地制度の変遷において、中世の「重層的な土地支配（一つの土地に領主や名主など複数の権利が重なっている状態）」から、土地の所有権と納税義務者を一対一で対応させる近代的な仕組みへと大きく変化した契機となった改革はどれか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|-----------|----------------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 地租改正 | 3. 三世一身の法 | 4. 武士の土地支配の慣習化 |
|------------|---------|-----------|----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 安価な原料を輸入して加工し、製品を輸出することで、多額の利益を得て貿易黒字に貢献した。	明治時代後半、日本は「加工貿易」の原型とも言える構造を確立しました。紡績業においては、安価な海外産の綿花を輸入し、機械化された工場で大量の綿糸や綿織物を生産・輸出することで外貨を獲得しました。これにより、日本経済は急速に発展し、日清・日露戦争を経て貿易黒字を生み出す体質へと変化していきました。
問2	答え 4 黒田清輝	『湖畔』は、箱根の涼しげな空気感や光の加減を印象派の手法を用いて描いた彼の代表作です。同時期には岡倉天心や横山大観らが日本画の伝統を維持・発展させようと活動していましたが、彼はフランス仕込みの「洋画」というジャンルを日本に根付かせました。
問3	答え 1 蝦夷地を北海道と改め、開拓使を設置して土地の開墾や警備を推進した。	明治政府は、ロシアとの国境を確定させる外交交渉（樺太・千島交換条約）と並行して、国内では「開拓使」を中心に北方の支配を強めました。これにより、北海道は日本の近代国家としての領土に組み込まれました。異国船打払令は江戸時代後期の出来事であり、米騒動は大正時代、長崎の管理は江戸幕府によるものです。
問4	答え 1 富岡製糸場	明治政府は、外貨を獲得するために当時の主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産を目指しました。そのためにフランスから技術者を招き、模範となる工場を群馬県に建設しました。これが後の日本の近代化を支える大きな原動力となりました。
問5	答え 2 四日市港	1894年に陸奥宗光が調印した日英通商航海条約が1899年に実施されると、領事裁判権（治外法権）が撤廃されました。この国際的な地位の向上と国内制度の整備に伴い、三重県の日四市港などが新たに外国との貿易を行う開港場として指定されました。函館港などは幕末の開国時にすでに開港されており、この時期の新指定ではありません。
問6	答え 3 君主である天皇の権限が強い仕組みが、当時の日本の統治体制に適していると考えたため。	伊藤博文はヨーロッパへ渡り、プロイセン（ドイツ）の政治家ビスマルクから助言を受けました。当時のプロイセン憲法は君主権が非常に強く、急速な近代化を進める日本にとって、天皇を中心とした中央集権体制を整える上で最適なモデルであると判断されました。
問7	答え 4 天候や作柄の影響を排除し、政府の予算編成に必要な税収を安定させるため	近代的な国家経営には、軍隊の整備や学校の建設など計画的な予算執行が不可欠でした。収穫量に依存する年貢制度では、冷害などの自然災害によって税収が激減するリスクがありましたが、地価を基準とした現金納付にすることで、政府は毎年決まった額の収入を確実に得られるようになりました。
問8	答え 4 戦争中に軍事費が急増し、国民が重い税負担を耐え忍んできたにもかかわらず、条約で賠償金を得ることができなかったから。	日露戦争中、軍事費は開戦前の約5倍近くまで膨れ上がり、国民は所得の2割を超えるような重い税負担を強いられていました。国民は「勝利すれば賠償金によってこの苦しい生活が報われる」と期待して戦争を支えてきましたが、ポーツマス条約ではロシアからの賠償金獲得に失敗しました。この結果、生活の困窮が続くことへの絶望と政府への怒りが爆発し、日比谷焼打事件などの暴動へと発展しました。
問9	答え 3 フランス流の急進的な自由主義を掲げ、地方の地主や農民を主な支持層とした。	自由党は、ルソーなどの思想を源流とするフランス流の急進的な民権論を主張しました。その支持基盤は地方の豪農や農民に広く浸透したことが特徴です。一方、翌年に大隈重信が結成した立憲改進黨は、イギリス流の穏健な改革を主張し、都市部の層を主な支持基盤としました。
問10	答え 1 義和団事件	1900年に発生したこの事件は、宗教結社から発展した武装集団による暴動で、北清事変とも呼ばれます。日本やロシア、イギリスなど8カ国の連合軍が鎮圧にあたり、その後の北京議定書により、列強の北京駐兵権が認められるなど、清の半植民地化がさらに進むこととなりました。明治時代の対外関係において、日清戦争と日露戦争の間に位置する重要な出来事です。
問11	答え 4 津田梅子	岩倉使節団に最年少の留学生として参加し、アメリカで約11年間教育を受けました。帰国後、当時の日本における女子教育の遅れを痛感し、女性の自立と地位向上には高度な教育が必要であるという考えから、1900年に現在の津田塾大学の前身となる女子英学塾を設立しました。
問12	答え 3 賠償金が得られないことへの不満から、日比谷焼打ち事件が発生した	日露戦争後、国民は日清戦争時とは比較にならないほどの重税や、約8万5000人におよぶ死傷者という犠牲を強いられていました。しかし、1905年のポーツマス条約においてロシアからの賠償金獲得に失敗したことで、苦しい生活を強いられていた国民の怒りが政府に向けられ、日比谷焼打ち事件という大規模な騒擾（そうじょう）事件が引き起こされました。
問13	答え 4 甲午農民戦争	1894年に朝鮮で始まった大規模な農民反乱である甲午農民戦争は、政治改革や外国勢力の排除を求めて起こされました。この反乱を鎮圧するために朝鮮政府が清に援軍を求めた際、日本もこれに対抗して出兵したことが、日清戦争へと発展する直接の原因となりました。義和団事件は清（中国）で起こった排外主義運動であり、壬午事変は1882年に起きた朝鮮の兵士らによる反乱です。
問14	答え 2 地租改正	日本では長く、一つの土地に対して複数の権利者が存在する複雑な権利関係が続いていましたが、明治時代の地租改正によって「地券」を持つ者が唯一の所有者として認められるようになりました。これにより、誰がその土地の持ち主であり、誰が税を納めるべきかが明確になり、中世・近世的な土地支配の仕組みが否定され、近代的な所有権が確立されました。